

22001

アジア文化概説Ⅰ

W 呂 順長

〔授業題目〕 中国文化概説

〔概要〕 三千年以上も文字記録の歴史がある中国文化を、時代ごとに系統的に述べるのではなく、日本文化との相互影響、日中の文化の異同等を中心に、身近な例や映像などを通じて解説する。

〔到達目標〕 日本文化との影響関係という視野に立っての中国文化の理解を目指す。

〔授業計画〕

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1 中国概況 (1) | 6 琴棋書画 | 11 『老子』の教え |
| 2 中国概況 (2) | 7 食文化 | 12 中国人の死生観 |
| 3 漢字 | 8 茶文化 | 13 中国人の「恥」意識 |
| 4 漢詩 (1) | 9 『論語』の教え (1) | 14 中国人の集団意識 |
| 5 漢詩 (2) | 10 『論語』の教え (2) | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 プリント配布

〔参考文献〕 『図説 中国文化百華 (全18巻)』 (農文協)

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 70 %、平常点 30 %

22002

アジア文化概説Ⅱ

S 梁 先姫

〔授業題目〕 韓国の社会事情

〔概要〕 かつて、朝鮮半島においては長期間にわたって中国の儒教文化・食文化・家庭規範など少なからず中国文化の影響を受けてきた。本講義では、アジア文化を概観するに当たって、中国文化の源流をたどりながら、韓国の社会問題を政治・経済・教育など諸領域に分けてわかりやすく解説する。併せて、現在変貌し続けている韓国の独自の文化にも触れる。

〔到達目標〕 儒教的伝統社会である韓国の社会事情からアジア文化を理解する。

〔授業計画〕

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 社会問題とは何か? | 8 韓国の市民の信仰生活 (2) |
| 2 社会問題に対する理論的
概念 | 9 韓国の教育構造 (1) |
| 3 韓国の政治システム (1) | 10 韓国の教育構造 (2) |
| 4 韓国の政治システム (2) | 11 韓国の家庭生活 (1) |
| 5 韓国の財閥企業 (1) | 12 韓国の家庭生活 (2) |
| 6 韓国の財閥企業 (2) | 13 韓国の食文化 (1) |
| 7 韓国の市民の信仰生活 (1) | 14 韓国の食文化 (2) |

〔テキスト〕 梁先姫他著 『韓国の政治社会と企業社会』 (ブレーン出版、2006) とプリント配布

〔参考文献〕 韓均子他著 『現代韓国社会を知るためのハンドブック』 (明石書店、2006)

〔授業形態〕 講義・対話

〔成績評価の方法〕 レポート 40 %、小テスト 40 %、平常点 20 %

22004

アジア文化概説Ⅳ

W 愛宕あもり

〔授業題目〕 イスラム文化

〔概要〕 アジアには、言語・文化・慣習・社会制度・国家体制・生活形態を様々にする人々が暮らしている。アジア文化の一つの基層をなすイスラム文化をとりあげ、それについて概観する。

〔到達目標〕 多様なアジアの中でのイスラム文化を理解する。

〔授業計画〕

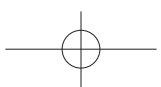
- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1 イスラム世界 | 6 ヴェールと女性観 (1) | 11 住まいと都市生活 |
| 2 中国のムスリム (1) | 7 ヴェールと女性観 (2) | 12 イスラム美術 (書) |
| 3 中国のムスリム (2) | 8 食の禁忌 (1) | 13 イスラム美術 (建築) |
| 4 イスラム (1) | 9 食の禁忌 (2) | 14 イスラム美術 (織物) |
| 5 イスラム (2) | 10 祭礼 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 プリント配布

〔参考文献〕 小杉泰・江川ひかり編 『イスラーム』 新曜社

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 100 %



22007 中国文化史

W 矢羽野隆男

〔授業題目〕 中国文化の通史的概観

〔概要〕 本講では、技術・芸術・思想・宗教などの分野における各時代の基本的な事象を概観する。それに加えて、中国文化が日本に与えた影響にも注目したい。講義においては視覚的な資料を多く用いて理解の助けとしたい。

〔到達目標〕 中国文化を通史的に見渡し、各時代の特徴を理解する。また、日本文化に及ぼした影響に留意する。

〔授業計画〕

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 殷周の文化 | 6 魏晋南北朝の文化（一） | 11 宋の文化（二） |
| 2 春秋戦国の文化（一） | 7 魏晋南北朝の文化（二） | 12 明清の文化（一） |
| 3 春秋戦国の文化（二） | 8 隋唐の文化（一） | 13 明清の文化（二） |
| 4 秦漢の文化（一） | 9 隋唐の文化（二） | 14 明清の文化（三） |
| 5 秦漢の文化（二） | 10 宋の文化（一） | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 資料を配布する。

〔参考文献〕 『中国文化叢書（全10巻）』（大修館書店）、『図説 中国文明史』（全10巻）（創元社）

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常点 40%

22010 日中交流史Ⅰ（古代）

S 須原祥二

〔授業題目〕 日中交流人物史

〔概要〕 奈良時代から平安時代末にかけて、日中交流で活躍した人々を取りあげながら、おのおのの時期の外交と貿易のあり方、および日本における中国文化の受容段階について考察する。

〔到達目標〕 時期と舞台を限定する形で、人々の交流や文化摂取の具体相を理解する。

〔授業計画〕

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| 1 古代日中関係史概説 | 6 最澄と空海 | 11 大神巳井と春日宅成 |
| 2 阿部仲麻呂と井真成 | 7 小野石根 | 12 齋然と成尋 |
| 3 吉備真備と伊予部家守 | 8 羽栗翼と羽栗翔 | 13 重源と栄西 |
| 4 道昭・智鳳・玄昉・行賀 | 9 藤原貞敏 | 14 まとめ |
| 5 藤原清河 | 10 円仁と円珍 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 プリントを配布する。

〔参考文献〕 講義中適宜紹介する。

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 100%

22021 日中交流史Ⅱ（現代）

W 呂 順長

〔授業題目〕 日中の相互認識

〔概要〕 近現代において、日中間に数多くの人々が往来し、両国の交流に尽力した。そのなかで特に知識人らが相手国の社会現状や風俗習慣などについてどう見ていたか、残された旅行記や帰国後の演説記録などに基づいて考察する。

〔到達目標〕 近現代において日中両国の間に文化交流が盛んに行なわれていたことを印象付け、両国の知識人による相手国に対する認識を理解する。

〔授業計画〕

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 近代日中文化交流史概説（1） | 9 中国人の「東遊日記」とは |
| 2 近代日中文化交流史概説（2） | 10 羅森「日本日記」（1） |
| 3 嘉納治五郎「清国巡遊所感」（1） | 11 羅森「日本日記」（2） |
| 4 嘉納治五郎「清国巡遊所感」（2） | 12 譚祖綸「扶桑景物記」（1） |
| 5 高田早苗「支那人教育に就て」（1） | 13 譚祖綸「扶桑景物記」（2） |
| 6 高田早苗「支那人教育に就て」（2） | 14 まとめ |
| 7 白鳥庫吉「清韓人の国民性に就て」（1） | 15 定期試験 |
| 8 白鳥庫吉「清韓人の国民性に就て」（2） | |

〔テキスト〕 プリント配布

〔参考文献〕 講義中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 70%、平常点 30%

22022 異文化論

S 田川恭識

〔授業題目〕 異文化

〔概要〕 文化を異にする者同士が互いに交流を図る際、両者の間で摩擦が生じる場合がある。摩擦の回避の為には、互いの文化に対する知識が必要であると同時に、コミュニケーションに内在する原理や構造についても知ることが重要である。本授業では、言語とコミュニケーションという問題を中心に、応用言語学、社会言語学などの立場から考察を加える。

〔到達目標〕 異文化コミュニケーションについての基礎的な知識を身につけると共に、多文化共生の視点を涵養する。

〔授業計画〕

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 インTRODクシヨシ | 9 コミユシケシヨシモデル |
| 2 文化とは何か | 10 コミユシケシヨシを支えるもの |
| 3 社会集団と文化 | 11 言葉によるコミュニケーション |
| 4 文化と価値観 | 12 非言語コミュニケーション |
| 5 文化の次元—個人主義と集団主義 | 13 異なる文化の捉え方・接し方 |
| 6 文化の次元—権力格差、文化の性差 | 14 カルチャーショックと異文化適応 |
| 7 文化の次元—不確実性の回避 | 15 定期試験 |
| 8 コミユシケシヨシのメカニズム | |

〔テキスト〕 八代京子他著『異文化トレーニング』（三修社）

〔参考文献〕

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 70%、平常点 30%

22023 アジア史 I

S 菊池忠純

〔授業題目〕 西トルキスタン史

〔概要〕 アジアは多様性に富んだ地理的環境の中でトルコ系、イラン系をはじめとした諸民族が相互に影響を与えながら歴史的に展開してきた。その中で特に7世紀以降のイスラームの伝播は各地の伝統と融合しながらも、普遍的な特色を与えた。またモンゴルの征西によってアジア全体を覆う交易路が完成した。この2つの事件に反映されるアジア地域の結びつきに注目して政治、経済、文化の諸側面から概観する。

〔到達目標〕 アジア地域についてその多様性をもたらした歴史的展開の理解を深める。

〔授業計画〕

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------------|
| 第1回 地理的環境と住民 (1) —農耕地帯 | 第9回 チュルク人の登場 |
| 第2回 地理的環境と住民 (2) —砂漠地帯 | 第10回 チュルク系諸王朝 |
| 第3回 地理的環境と住民 (3) —オアシスと山岳地帯 | 第11回 モンゴル人の世界 |
| 第4回 海域と島嶼 | 第12回 「モンゴルの平和」 |
| 第5回 イスラーム伝播以前のアジア | 第13回 サマルカンドとティムール朝 |
| 第6回 イラン人の世界 | 第14回 オスマン・トルコ帝国・サファヴィー朝ペルシア・ムガル朝インドの鼎立 |
| 第7回 唐王朝と製紙法の西伝と官僚制 | 第15回 定期試験 |
| 第8回 サーマーン朝をはじめとする各地の王朝 | |

〔テキスト〕 プリント

〔参考書〕 適宜授業の展開に応じて指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 70%、小テスト 10%、平常点 20%

22024 アジア史 II

W 須原祥二

〔授業題目〕 古代の東アジア世界と日本

〔概要〕 前近代、中国を中心とした東アジア地域は、「東アジア世界」と呼ばれる一つの世界を形成していた。ここでは漢帝国の崩壊から隋唐帝国の成立とその崩壊までを対象に、中国・朝鮮・日本の動向を概観する。それぞれの社会の動きが相互にどのような影響を及ぼし合ったのか、また他地域との交渉が自ら社会にどのような変化をもたらしたのかを考えていきたい。

〔到達目標〕 日本をはじめ東アジア諸国が、東アジア世界の動向に規定された存在であることを理解する。

〔授業計画〕

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1 楽浪郡の成立 | 6 新羅の台頭 | 12 最後の遣唐使 |
| 2 邪馬台国をとりまく国際環境 | 7 隋の統一 | 13 東アジア世界の再編 1 |
| 3 五胡十六国時代 | 8 東アジアの中の大化改新 | 14 東アジア世界の再編 2 |
| 4 広開土王と長寿王 | 9 統一新羅の成立 | 15 定期試験 |
| 5 倭の五王の時代 | 10 渤海の建国 | |
| | 11 安史の乱 | |

〔テキスト〕 史料プリントを配布する。

〔参考文献〕 講義中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 定期試験 100%

22025

中国文学

S 西村富美子

〔授業題目〕白居易研究

〔概要〕中国唐代の詩人白居易は日本人に最もよく知られている。その作品の中から制作年代の順に代表作を選んで読み進め、白居易の詩の特性について考える。

〔到達目標〕白居易の詩の形式的な面、詩型について理解し、さらにそれぞれの作品に表現された詩人の心情を把握する。

〔授業計画〕

- | | | |
|----------------|-------------|------------|
| 1 唐詩について概説 | 6 胡旋女・牡丹芳 | 11 倣陶潜体詩、他 |
| 2 長恨歌：歴史的背景 | 7 時世粧・李夫人 | 12 感傷詩概説 |
| 3 長恨歌：読解及び解説 | 8 諷諭詩：秦中吟概説 | 13 琵琶行、他 |
| 4 諷諭詩：新樂府五十篇概説 | 9 傷宅・不致仕 | 14 律詩概説 |
| 5 上陽白髮人 | 10 閑適詩概説 | 15 律詩の作品 |

〔テキスト〕授業時に資料を配布

〔参考文献〕『白居易』上・下（岩波書店）、中国の古典『白居易』（角川書店）

〔授業形態〕講義

〔成績評価の方法〕複数回のレポート 50%、平常点 50%

22026

アラビア文学

S 岡崎桂二

〔授業題目〕日中ア比較文学

〔概要〕中国もアラブも豊かな文化を開花させ、東西に影響を及ぼした。この互いに異なる文化圏に属すると思われる中国とアラブの文学を、日本を仲立ちとして巨視的に比較し、その異同を明らかにする。

〔到達目標〕文学に関して、日中アの3文化間の基本的な異同の理解。

〔授業計画〕

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1 言語と文学 (1) | 6 " (2) | 11 シンデレラ・サイクル |
| 2 " (2) | 7 聖者伝 (1) | 12 徐福伝説 |
| 3 思想と文学 (1) | 8 " (2) | 13 ユートピア文学 |
| 4 " (2) | 9 " (3) | 14 近代文学の創出 |
| 5 詩心 (1) | 10 アラビアン・ナイト | |

〔テキスト〕興膳宏・編『中国文学を学ぶ人のために』世界思想社

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義

〔成績評価の方法〕レポート 60%、小テスト 40%

22027

アジア思想 I (儒教道教)

S 矢羽野隆男

〔授業題目〕中国・日本の儒教・道教

〔概要〕儒教は知識人の行動・思想を規定する教え（宗教）である。一方、道教は広く民衆の生活に根ざした宗教である。中国発生の二つの宗教の歴史、特徴を述べ、日本などへの影響にも言及する。

〔到達目標〕儒教・道教の歴史的・地域的な展開、両者の相互補完的な特徴を理解する。

〔授業計画〕

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 儒教は宗教か | 6 朱子学 | 11 気の思想 |
| 2 孔子の生涯とその時代 | 7 陽明学 | 12 道教の神さま |
| 3 孔子の後継 | 8 日本の朱子学・陽明学 | 13 道教と健康法 |
| 4 儒教の成立 | 9 老荘思想と道教 | 14 日本の道教 |
| 5 仏教・道教との交渉 | 10 教団道教の展開 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕適宜プリントを配布する。

〔参考文献〕『道教史<世界宗教史叢書9>』『儒教史<世界宗教史叢書10>』（山川出版社）

〔授業形態〕講義

〔成績評価の方法〕定期試験 60%、小レポート等の平常成績 40%



22028

アジア思想Ⅱ (仏教)

W 西岡祖秀

〔授業題目〕チベットと東南アジアの仏教

〔概要〕仏教のインド以外への伝播としては、中国 (A.D.1 C～)、チベット (A.D.7 C～)、東南アジア (A.D.10 C～) の三地域を挙げることができる。本授業では、このうちのチベットと東南アジアの仏教を扱う。

〔到達目標〕インドに興起した仏教が、チベットと東南アジアという異なった地域において、いかに変容した形態を取るに至ったかを明らかにする。

〔授業計画〕

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 1 チベットの仏教 (1) | 6 チベットの仏教 (6) | 11 東南アジアの仏教 (4) |
| 2 チベットの仏教 (2) | 7 チベットの仏教 (7) | 12 東南アジアの仏教 (5) |
| 3 チベットの仏教 (3) | 8 東南アジアの仏教 (1) | 13 東南アジアの仏教 (6) |
| 4 チベットの仏教 (4) | 9 東南アジアの仏教 (2) | 14 東南アジアの仏教 (7) |
| 5 チベットの仏教 (5) | 10 東南アジアの仏教 (3) | 15 定期試験 |

〔テキスト〕

〔参考文献〕『チベット仏教』(岩波講座・東洋思想第2巻)、『東南アジアの仏教』(アジア仏教史・インド編Ⅵ、佼成出版社)

〔授業形態〕講義

〔成績評価の方法〕定期試験 70 %、平常点 30 %

22041

中国語初級Ⅰ

S 胡士雲

〔授業題目〕発音と基本文法 (1)

〔概要〕中国語学習のスタートで最も重要なのは、ピンインを理解して正確な発音を身につけることである。そのため、この授業の前半は、発音方法の解説を中心とする。後半は、基本的な文法事項を説明する。

〔到達目標〕正確な発音方法を習得した上で、基本的な文法事項の習得を目指す。

〔授業計画〕

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 第1・2課の本文 | 6 第8課の本文 | 11 第12課の本文 |
| 2 第3・4課の本文 | 7 総合復習 | 12 第13課の本文 |
| 3 第5課の本文 | 8 第9課の本文 | 13 第14課の本文 |
| 4 第6課の本文 | 9 第10課の本文 | 14 第15課の本文 |
| 5 第7課の本文 | 10 第11課の本文 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕胡士雲・矢羽野隆男 著『基礎漢語教程』(朋友書店)

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験 60 %、平常成績 40 %

22042

中国語初級Ⅱ

W 胡士雲

〔授業題目〕発音と基本文法 (3)

〔概要〕夏学期に引き続き、正確な発音と基本的な文法事項との習得を図る。

〔到達目標〕文法事項は単に知識としての理解にとどまらず、実際に活用できるように実践的な運用能力の養成を目指す。

〔授業計画〕

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 前期内容の復習 | 6 第20課の本文 | 11 第24課の本文 |
| 2 第16課の本文 | 7 第21課の本文 | 12 第25課の本文 |
| 3 第17課の本文 | 8 第22課の本文 | 13 第26課の本文 |
| 4 第18課の本文 | 9 総合復習 (1) | 14 総合復習 (2) |
| 5 第19課の本文 | 10 第23課の本文 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕胡士雲・矢羽野隆男 著『基礎漢語教程』(朋友書店)

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験 60 %、平常成績 40 %



22043

中国語初級Ⅲ

S 胡士雲

〔授業題目〕発音と基本文法（2）

〔概要〕初級中国語Ⅰとペアーにして、Ⅰで学習した内容の定着を図る。発音練習を繰り返し行い、また教科書の本文の理解、さらに重要文法を含む短文の暗誦を通して、発音と文法とを確実に身につける。

〔到達目標〕正確な発音で教科書の本文を流暢に読めるための発音練習、基本文法の習得により、実践的な中国語運用能力の養成を目指す。

〔授業計画〕

1 第1・2課の発音	6 総合復習（1）	11 第13課の文法と練習問題
2 第3課の発音	7 第9課の文法と練習問題	12 第14課の文法と練習問題
3 第4・5課の発音	8 第10課の文法と練習問題	13 第15課の文法と練習問題
4 第6課の発音	9 第11課の文法と練習問題	14 総合復習（2）
5 第7課の発音	10 第12課の文法と練習問題	15 定期試験

〔テキスト〕胡士雲・矢羽野隆男 著『基礎漢語教程』（朋友書店）

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験60%、平常成績40%

22044

中国語初級Ⅳ

W 胡士雲

〔授業題目〕発音と基本文法（4）

〔概要〕夏学期に引き続き、中国語初級Ⅱとペアーにして、正確な発音と基本的な文法の事項の定着を図る。重要文法含む短文を多く暗誦する。また、発音を習得した後の難関はヒアリングである。ヒアリング能力を養うために、本文およびそれに関連する内容を聞き取る練習を行う。

〔到達目標〕発音、ヒアリング能力、文法のそれぞれにおいて、中国語初級レベルの能力の確実な習得ことを目指す。

〔授業計画〕

1 前期内容の復習	6 第20課の文法と練習問題	11 第24課の文法と練習問題
2 第16課の文法と練習問題	7 第21課の文法と練習問題	12 第25課の文法と練習問題
3 第17課の文法と練習問題	8 第22課の文法と練習問題	13 第26課の文法と練習問題
4 第18課の文法と練習問題	9 総合復習（1）	14 総合復習（2）
5 第19課の文法と練習問題	10 第23課の文法と練習問題	15 定期試験

〔テキスト〕胡士雲・矢羽野隆男 著『基礎漢語教程』（朋友書店）

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験60%、平常成績40%

22045

中国語初級Ⅴ

S 大西 紀

〔授業題目〕初級会話Ⅰ

〔概要〕中国語初級Ⅰ・Ⅲとペアーにして、Ⅴでは会話を中心とする。中国語初級Ⅰ・Ⅲの授業で学習した内容を生かし、日常生活や身の周りのことごとについて、場面に応じた適当な表現を習得する。

〔到達目標〕場面に応じた実用的な中国語運用能力を養うことを目指す。

〔授業計画〕

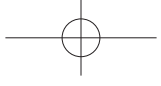
1 第1課	6 第4課	11 第6課
2 第2課	7 第4課	12 第7課
3 第2課	8 第5課	13 第7課
4 第3課	9 第5課	14 第8課
5 第3課	10 第6課	15 定期試験

〔テキスト〕載桂英・劉立新・李海燕 編著『初級漢語口語（上）』（中国・北京大学出版社）

〔参考文献〕授業中適宜指示する

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験60%、平常成績40%



22046

中国語初級Ⅵ

W 大西 紀

〔授業題目〕 初級会話Ⅱ

〔概要〕 中国語初級Ⅱ・Ⅳとペアーにして、Ⅵでは会話を中心とする。中国語初級Ⅱ・Ⅳの授業で学習した内容を生かし、日常生活や身の周りのことならについて、場面に応じた適当な表現を習得する。

〔到達目標〕 場面に応じた実用的な中国語運用能力を養うことを目指す。

〔授業計画〕

1 第9課	6 第11課	11 第14課
2 第9課	7 第12課	12 第14課
3 第10課	8 第12課	13 第15課
4 第10課	9 第13課	14 第15課
5 第11課	10 第13課	15 定期試験

〔テキスト〕 戴桂扶・劉立新・李海燕 編著『初級漢語口語（上）』（中国・北京大学出版社）

〔参考文献〕 授業中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%

22047

中国語中級Ⅰ

S 呂 順長

〔授業題目〕 基本文法と応用Ⅰ

〔概要〕 中国語中級は、1年間の中国語初級の学習を終えた学生を対象にする授業である。初級に引き続き、中国語の文法事項を学習するとともに、中国文化を紹介する本文により、中国の風俗習慣や考え方などを学ぶ。Ⅰでは、特に本文の学習を中心とする。

〔到達目標〕 正確な発音に注意して本文を読み、新しい文法事項を習得し、読解力を養う。また中国の風俗習慣に対する理解を深める。

〔授業計画〕

1 第1課の本文	6 第3課の本文	11 第6課の本文
2 第1課の本文	7 第4課の本文	12 第6課の本文
3 第2課の本文	8 第4課の本文	13 第7課の本文
4 第2課の本文	9 第5課の本文	14 第7課の本文
5 第3課の本文	10 第5課の本文	15 定期試験

〔テキスト〕 胡士雲 著『文化・漢語・会話』（朋友書店）

〔参考文献〕 授業中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%

22048

中国語中級Ⅱ

W 呂 順長

〔授業題目〕 基本文法と応用Ⅱ

〔概要〕 夏学期に引き続き、中国語の文法事項を学習するとともに、中国文化を紹介する本文により、中国の風俗習慣や考え方などを学ぶ。Ⅱでは、特に本文の学習を中心とする。

〔到達目標〕 正確な発音に注意して本文を読み、新しい文法事項を習得し、読解力を養う。また中国の風俗習慣に対する理解を深める。

〔授業計画〕

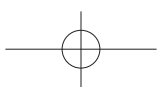
1 第8課の本文	6 第10課の本文	11 第13課の本文
2 第8課の本文	7 第11課の本文	12 第13課の本文
3 第9課の本文	8 第11課の本文	13 第14課の本文
4 第9課の本文	9 第12課の本文	14 第14課の本文
5 第10課の本文	10 第12課の本文	15 定期試験

〔テキスト〕 胡士雲 著『文化・漢語・会話』（朋友書店）

〔参考文献〕 授業中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%



22049

中国語中級Ⅲ

S 呂 順長

〔授業題目〕 基本文法と応用Ⅲ

〔概要〕 中国語中級Ⅰとペアーにして、基本的な文法事項を学び、練習を通じて文法事項の定着を図る。さらに重要文法を含む短文の暗誦を通して、重要文法の運用力を養う。Ⅲは、特に文法・練習問題を中心とする。

〔到達目標〕 基本の文法の学習、練習により、実践的な中国語運用能力の養成を目指す。

〔授業計画〕

1 第1課の文法・練習	6 第3課の文法・練習	11 第6課の文法・練習
2 第1課の文法・練習	7 第4課の文法・練習	12 第6課の文法・練習
3 第2課の文法・練習	8 第4課の文法・練習	13 第7課の文法・練習
4 第2課の文法・練習	9 第5課の文法・練習	14 第7課の文法・練習
5 第3課の文法・練習	10 第5課の文法・練習	15 定期試験

〔テキスト〕 胡士雲 著『文化・漢語・会話』（朋友書店）

〔参考文献〕 授業中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%

22050

中国語中級Ⅳ

W 呂 順長

〔授業題目〕 基本文法と応用Ⅳ

〔概要〕 中国語中級Ⅱとペアーにして、基本的な文法事項を学び、練習を通じて文法事項の定着を図る。さらに重要文法を含む短文の暗誦を通して、重要文法の運用力を養う。Ⅳは、特に文法・練習問題を中心とする。

〔到達目標〕 基本の文法の学習、練習により、実践的な中国語運用能力の養成を目指す。

〔授業計画〕

1 第8課の文法・練習	6 第10課の文法・練習	11 第13課の文法・練習
2 第8課の文法・練習	7 第11課の文法・練習	12 第13課の文法・練習
3 第9課の文法・練習	8 第11課の文法・練習	13 第14課の文法・練習
4 第9課の文法・練習	9 第12課の文法・練習	14 第14課の文法・練習
5 第10課の文法・練習	10 第12課の文法・練習	15 定期試験

〔テキスト〕 胡士雲 著『文化・漢語・会話』（朋友書店）

〔参考文献〕 授業中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%

22061

中国語中級Ⅴ

S 胡 士雲

〔授業題目〕 中級会話Ⅰ

〔概要〕 初級の学習内容を基礎に、中国語中級Ⅰ・Ⅲとペアーにして、Ⅴでは会話を中心とする。中国語中級Ⅰ・Ⅲの授業で学習した内容を生かし、日常生活や身の周りのことがらについて、場面に応じた適切な表現を習得する。

〔到達目標〕 場面に応じた、実用的な中国語運用能力を養うことを目指す。

〔授業計画〕

1 第16課	6 第18課	11 第21課
2 第16課	7 第19課	12 第21課
3 第17課	8 第19課	13 第22課
4 第17課	9 第20課	14 第22課
5 第18課	10 第20課	15 定期試験

〔テキスト〕 戴桂英・劉立新・李海燕 編著『初級漢語口語（上）』（中国・北京大学出版社）

〔参考文献〕 講義中適宜指示する。

〔授業形態〕 講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕 定期試験 60%、平常成績 40%

**22062****中国語中級Ⅵ**

W 胡 士雲

〔授業題目〕中級会話Ⅱ

〔概要〕中級Ⅴに引き続き、日常生活や身の周りのことがらについて、場面に応じた適切な表現を習得する。

〔到達目標〕場面に応じた、実用的な中国語運用能力を養うことを目指す。また、中国語における基礎レベルの能力検定に合格できる能力の養成を目指す。

〔授業計画〕

1 第23課	6 第25課	11 第28課
2 第23課	7 第26課	12 第28課
3 第24課	8 第26課	13 第29課
4 第24課	9 第27課	14 第30課
5 第25課	10 第27課	15 定期試験

〔テキスト〕戴桂美・劉立新・李海燕 編著『初級漢語口語（上）』（中国・北京大学出版社）

〔参考文献〕講義中適宜指示する。

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験 60%、平常成績 40%

22063**中国語会話Ⅰ**

S 霍 麗艷

〔授業題目〕中国語会話の基礎と応用（1）

〔概要〕中国語を一年間学んだ学生を対象に、本文の朗読と理解とを基とし、語法的な要点と新出単語を身につけることにより、中国語の会話能力の向上を図る。

〔到達目標〕句型・単語の知識を増やし、聞き取りと発話との能力を高める。

〔授業計画〕

1 第1課（1）	6 第3課（2）	11 第6課（1）
2 第1課（2）	7 第4課（1）	12 第6課（2）
3 第2課（1）	8 第4課（2）	13 第7課（1）
4 第2課（2）	9 第5課（1）	14 第7課（2）
5 第3課（1）	10 第5課（2）	15 定期試験

〔テキスト〕王順洪他著『感知中国語—中級中国語読解と会話—』（駿河台出版）

〔参考文献〕授業中に適宜紹介

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕平常成績 60%、定期試験 40%

22064**中国語会話Ⅱ**

W 霍 麗艷

〔授業題目〕中国語会話の基礎と応用（2）

〔概要〕夏学期に引き続き、本文の朗読と理解とを基とし、語法的な要点と新出単語を身につけることにより、中国語の会話能力の向上を図る。

〔到達目標〕句型・単語の知識を増やし、聞き取りと発話との能力を高める。

〔授業計画〕

1 第8課（1）	6 第10課（2）	11 第13課（1）
2 第8課（2）	7 第11課（1）	12 第13課（2）
3 第9課（1）	8 第11課（2）	13 第14課（1）
4 第9課（2）	9 第12課（1）	14 第14課（2）
5 第10課（1）	10 第12課（2）	15 定期試験

〔テキスト〕王順洪他著『感知中国語—中級中国語読解と会話—』（駿河台出版）

〔参考文献〕授業中に適宜紹介

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕平常成績 60%、定期試験 40%



22067

中国語作文 I

S 霍麗艷

〔授業題目〕中国語作文の基礎と応用 (1)

〔概要〕中国語の基礎を一年間学んだ学生を対象に、中国語初級・中級で学んだ文法事項を整理・復習し、練習問題を多く解くことにより、それを応用した表現能力を高める。

〔到達目標〕既習事項を確実に習得し、それを活用した表現能力を身につける。

〔授業計画〕

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 判断・確認 (1) | 6 推量・予測 (2) | 11 意志・願望 (1) |
| 2 判断・確認 (2) | 7 復習 | 12 意志・願望 (2) |
| 3 疑問 (1) | 8 復習 | 13 総復習 |
| 4 疑問 (2) | 9 必然・当然 (1) | 14 総復習 |
| 5 推量・予測 (1) | 10 必然・当然 (2) | 15 定期試験 |

〔テキスト〕竹島金吾著『練習中心トレーニング中国語』(白水社)

〔参考文献〕授業中に適宜紹介する

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕平常成績 60%、定期試験 40%

22068

中国語作文 II

W 霍麗艷

〔授業題目〕中国語作文の基礎と応用 (2)

〔概要〕夏学期に引き続き、既習の文法事項を整理・復習し、練習問題を多く解くことにより、それを応用した表現能力を高める。

〔到達目標〕既習事項を確実に習得し、それを活用した表現能力を身につける

〔授業計画〕

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 可能・不可能 (1) | 9 一致・類似 (1) |
| 2 可能・不可能 (2) | 10 一致・類似 (2) |
| 3 許容・勧告・命令・要請 (1) | 11 使役 (1) |
| 4 許容・勧告・命令・要請 (2) | 12 使役 (2) |
| 5 程度・結果 (1) 比較 (1) | 13 総復習 |
| 6 程度・結果 (2) 比較 (2) | 14 総復習 |
| 7 復習 | 15 定期試験 |
| 8 復習 | |

〔テキスト〕竹島金吾著『練習中心トレーニング中国語』(白水社)

〔参考文献〕授業中に適宜紹介する

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕平常成績 60%、定期試験 40%

22081

中国語初級総合 I

S 大西 紀

〔授業題目〕中国語初級総合 I

〔概要〕あいさつ言葉、簡単な会話ができるよう反復練習を重ねます。それにより聞く力、話す力、書く力を養成。やりっぱなしでは力はないので、復習テストを毎課行います。

〔到達目標〕あいさつ・簡単な応答。中国語検定試験準 4 級レベルとヒアリング能力。

〔授業計画〕

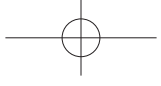
- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1 発音 (1) | 6 第 2 課 (復習) | 11 第 5 課 |
| 2 発音 (2) | 7 第 3 課 | 12 第 5 課 (復習) |
| 3 第 1 課 | 8 第 3 課 (復習) | 13 第 6 課 |
| 4 第 1 課 (復習) | 9 第 4 課 | 14 第 6 課 (復習) |
| 5 第 2 課 | 10 第 4 課 (復習) | 15 定期試験 |

〔テキスト〕講師作成プリント

〔参考文献〕なし

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験 40%、平常点 30%、復習テスト 30%

**22082****中国語初級総合Ⅱ**

W 大西 紀

〔授業題目〕中国語初級総合Ⅱ

〔概要〕前期の授業を受け、更に高度な中国語力を培います。簡単な会話を流暢に行えるよう反復練習を行い、同時にヒアリング力も伸ばしていきたいと考えています。復習テストを毎課行います。

〔到達目標〕簡単な会話ができる。中国語検定試験4級レベルのヒアリング能力。

〔授業計画〕

1 第7課	6 第9課(復習)	11 第12課
2 第7課(復習)	7 第10課	12 第12課(復習)
3 第8課	8 第10課(復習)	13 第13課
4 第8課(復習)	9 第11課	14 第13課(復習)
5 第9課	10 第11課(復習)	15 定期試験

〔テキスト〕講師作成プリント

〔参考文献〕なし

〔授業形態〕講義・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験40%、平常点30%、小テスト30%

22083**中国語中級総合Ⅰ**

S 大西 紀

〔授業題目〕中国語中級総合Ⅰ

〔概要〕中国語検定試験合格のための対策授業です。ヒアリング中心の演習を通じ、聞く力を養成していきます。毎回復習テストを行い、実力向上を図ります。

〔到達目標〕中国語検定試験4級合格を目指します。

〔授業計画〕

1 実力診断テスト	6 第5課	11 第9課
2 第1課	7 第6課	12 第10課
3 第2課	8 第7課	13 第11課
4 第3課	9 第8課	14 第12課
5 第4課	10 実力診断テスト	15 定期試験

〔テキスト〕郭春貴著『中国語検定対策3級・4級ヒアリング編』(白帝社)

〔参考文献〕なし

〔授業形態〕演習・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験60%、平常点40%

22084**中国語中級総合Ⅱ**

W 大西 紀

〔授業題目〕中国語中級総合Ⅱ

〔概要〕中国語検定試験合格のための対策授業です。前期より更に高度なヒアリング力を培い、HSK対策も併せて行います。

〔到達目標〕中国語検定試験3級合格。HSK3～4級取得。

〔授業計画〕

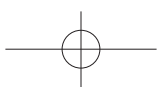
1 実力テスト	6 第5課	11 第9課
2 第1課	7 第6課	12 第10課
3 第2課	8 第7課	13 第11課
4 第3課	9 第8課	14 第12課
5 第4課	10 実力診断テスト	15 定期試験

〔テキスト〕郭春貴著『中国語検定対策3級・4級ヒアリング編』(白帝社)

〔参考文献〕なし

〔授業形態〕演習・双方向授業

〔成績評価の方法〕定期試験60%、平常点40%



22085

中国語情報処理演習

S 胡 士雲

〔授業題目〕 パソコンによる資料調査と文書処理

〔概要〕 現代社会では、パソコンを用いた書類作成やプレゼンテーションが不可欠であり、インターネットによる資料の収集も便利で且つ有用である。この授業では、中国語OS環境での文書処理と資料収集の方法を紹介した上で、実習を通して操作方法を身につける。

〔到達目標〕 パソコンを用いて中国語の文書の作成能力を養うことを目指す。

〔授業計画〕

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 中国語OSの概要 | 8 Wordを用いた文書作成Ⅱ |
| 2 中国語の入力ソフト | 9 Wordを用いた文書作成Ⅲ |
| 3 Micro Office (中国語バージョン)の概要 | 10 Power Pointを用いたプレゼンテーションⅠ |
| 4 Micro Officeの中・日バージョンの用語対照Ⅰ | 11 Power Pointを用いたプレゼンテーションⅡ |
| 5 Micro Officeの中・日バージョンの用語対照Ⅱ | 12 Power Pointを用いたプレゼンテーションⅢ |
| 6 Micro Officeの中・日バージョンの用語対照Ⅲ | 13 中国のサイトの紹介 |
| 7 Wordを用いた文書作成Ⅰ | 14 Internetを用いた中国関係情報の検索 |

〔テキスト〕 プリント配布

〔参考文献〕

〔授業形態〕 講義・演習

〔成績評価の方法〕 レポート70%、出席等平常点30%

22086

文献講読Ⅰ (歴史・文化)

S 矢羽野隆男

〔授業題目〕 中国の地理・歴史

〔概要〕 中国の地理・歴史に関する中国語教材を、最初はゆっくりとした進捗で、後半は進捗を速めて読み進める。内容理解の助けとなる補助教材を適宜配布する。

〔到達目標〕 中国語読解能力を高める。地理、歴史について広く基礎的な知識を習得する。

〔授業計画〕

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1 中国の自然環境 (一・1) | 6 中国の行政地域 (二) | 11 中国の歴史 (二・1) |
| 2 中国の自然環境 (一・2) | 7 北京と上海 (一) | 12 中国の歴史 (二・2) |
| 3 中国の自然環境 (二・1) | 8 北京と上海 (二) | 13 中国の歴史 (三・1) |
| 4 中国の自然環境 (二・2) | 9 中国の歴史 (一・1) | 14 中国の歴史 (三・2) |
| 5 中国の行政地域 (一) | 10 中国の歴史 (一・2) | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 中山時子『中国文化基礎知識』(東方書店)

〔参考文献〕 『中国百科』『中国文化叢書』(ともに大修館書店)、『図説 中国文明史』(創元社)

〔授業形態〕 講義・演習

〔成績評価の方法〕 定期試験40%、予習など平常点60%

22087

文献講読Ⅱ (歴史・文化)

W 川内眷三

〔授業題目〕 古代日中文化交渉の文献と古地図

〔概要〕 倭人や倭国のことが中国の文献にあらわれたのは、後漢時代初期に編纂された班固の『漢書』であり、王充の『論衡』である。『魏志倭人伝』を中心に通読し、地理の側面に重点をおいて解説を加える。さらに、中国・朝鮮からみた古地図を紹介し、日本の描かれた背景を検証する。

〔到達目標〕 『魏志倭人伝』の記述内容、古地図を検証することによって、倭国地理像を考察し、中国との文化交渉の理解に努める。

〔授業計画〕

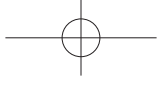
- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 授業展開の計画と中国古代歴史の概要 | 9 魏志倭人伝、卑弥呼の位置づけ |
| 2 日中文化交渉の道 | 10 魏志倭人伝、倭国と中国の交渉 |
| 3 漢書地理志・魏略逸文・後漢書東夷伝 | 11 宋書倭国伝 |
| 4 魏志倭人伝、『三国志』と陳寿 | 12 日本が描かれる世界最古の地図『古今華夷区域惣要図』、他 |
| 5 魏志倭人伝、倭国への地理像(1) | 13 『東震旦地理図』・『混一疆理歴代国都之図』、他 |
| 6 魏志倭人伝、倭国への地理像(2) | 14 倭国地理像、総括 |
| 7 魏志倭人伝、倭人の社会と風習(1) | 15 定期試験 |
| 8 魏志倭人伝、倭人の社会と風習(2) | |

〔テキスト〕 適宜プリントを配布。

〔参考文献〕 森浩一編『倭人伝を読む』(中公新書)、海野一隆著『地図にみる日本—倭国・ジパング・大日本—』(大修館書店)

〔授業形態〕 講義・事前通読学習

〔成績評価の方法〕 定期試験70%、レポート・平常点30%



22088

文献講読Ⅰ（社会・経済）

S 霍麗艷

〔授業題目〕中国社会、経済の文献講読

〔概要〕本講義は、社会主義市場経済移行中の中国社会、経済現状を反映する文献を講読し、文献の内容を報告・発表しながら講義を進む。ビデオ視聴やディスカッションも適宜に行い、意見の発表を求める。

〔到達目標〕中国の社会、経済に関する文献講読を通じて、読解力を養いながら、激動する現代中国の社会、経済への理解を深める。

〔授業計画〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 担当を決め、テーマ設定 | 9 外資政策に関する文献講読 |
| 2 社会システムに関する文献講読 | 10 企業活動に関する文献講読 |
| 3 社会システムに関する文献講読 | 11 経済生活に関する文献講読 |
| 4 社会問題に関する文献講読 | 12 経済生活に関する文献講読 |
| 5 社会問題に関する文献講読 | 13 経済生活に関する文献講読 |
| 6 社会問題に関する文献講読 | 14 前半ビデオ視聴、後半報告ディスカッション |
| 7 前半ビデオ視聴、後半ディスカッション | 15 レポートの提出 |
| 8 経済政策に関する文献講読 | |

〔テキスト〕講読文献は、授業中配布

〔参考文献〕適宜授業中に参考文献を指示する。

〔授業形態〕講義・発表・討論

〔成績評価の方法〕主に授業中の発表状況による（70％）が、期末レポートの提出も求める（30％）。

22089

文献講読Ⅱ（社会・経済）

W 霍麗艷

〔授業題目〕中国社会、経済の文献講読

〔概要〕文献講読Ⅰの続き、社会主義市場経済移行中の中国社会、経済の現状を反映する文献を講読しながら、ビデオ視聴やディスカッションも適宜に行う。各自関心のある文献を選び、内容を要約し、問題点について討議する。

〔到達目標〕中国の社会、経済に関する文献講読を通じて、読解力を養いながら、激動する現代中国の社会、経済への理解を深める。

〔授業計画〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 担当を決め、テーマ設定 | 9 外資政策に関する文献講読 |
| 2 社会システムに関する文献講読 | 10 企業活動に関する文献講読 |
| 3 社会システムに関する文献講読 | 11 経済生活に関する文献講読 |
| 4 社会問題に関する文献講読 | 12 経済生活に関する文献講読 |
| 5 社会問題に関する文献講読 | 13 経済生活に関する文献講読 |
| 6 社会問題に関する文献講読 | 14 前半ビデオ視聴、後半報告ディスカッション |
| 7 前半ビデオ視聴、後半ディスカッション | 15 レポートの提出 |
| 8 経済政策に関する文献講読 | |

〔テキスト〕講読文献は、授業中配布

〔参考文献〕適宜授業中に参考文献を指示する。

〔授業形態〕講義・発表・討論

〔成績評価の方法〕主に授業中の発表状況による（70％）が、期末レポートの提出も求める（30％）。

22104

人文地理学Ⅰ

S 梅原隆治

〔授業題目〕食の生産と流通

〔概要〕食の生産を受け持つ第1次産業は自然環境とのつながりが深い。農・牧・林・水産業の立地条件を考えながら、それらの経営形態や景観の違いを、食材の流通や食の文化とも絡めて見て行く。

〔到達目標〕大半の学生が高校で地理を未履修であるが、「食糧の生産と需給」を視座に据え、地域性を考察し、地理的知識を深めてもらいたい。

〔授業計画〕

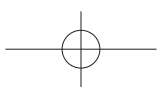
- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 はじめに（食の地理学） | 9 ヨーロッパの酪農 |
| 2 農業の立地条件（自然） | 10 アメリカ合衆国の企業的牧畜業 |
| 3 農業の社会条件と地域区分 | 11 森林帯と林業 |
| 4 様々な自給的農業 | 12 森林破壊、森林保全 |
| 5 伝統的なアジアの農業 | 13 水産業の立地条件 |
| 6 ヨーロッパの商業的農業 | 14 主要漁場と200海里問題 |
| 7 新大陸の企業的農業（世界の穀倉） | 15 定期試験 |
| 8 遊牧と牧畜 | |

〔テキスト〕適宜プリント配布、地図帳持参が望ましい。

〔参考文献〕有蘭正一郎『農耕技術の歴史地理』（2007.古今書院）、梅田克樹『酪農の地域システム』（2007.古今書院）、實清隆『大学テキスト 人文地理学』（2006.古今書院）

〔授業形態〕講義形式で行なうが、地理学は景観の学でもあるので、画像や映像の提示にも注視してもらいたい。

〔成績評価の方法〕定期試験80％、レポート等の平常点20％



22105 人文地理学Ⅱ

W 梅原隆治

〔授業題目〕 住まい、村落と都市（集落地理学）

〔概要〕 大地の表面からは「土地に刻まれた歴史」が読み取れる。それぞれの地域における集落（村落や都市）の歴史的景観を通して、今日的な課題とそれへの対応策を探る。

〔到達目標〕 大半が高等学校での地理未履修者であるので、なるべく幅広く地理学の諸相を身につける。様々な人文地理学の視点で地域性を考察し、地理的知識を深める。

〔授業計画〕

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1 はじめに（住居と地理学） | 6 都市の立地と分布 | 11 さまざまな都市計画 |
| 2 村落の立地条件 | 7 都市の発達と分類 | 12 都市の再開発 |
| 3 村落の形態分類 | 8 都市の機能と地域分化 | 13 さまざまな都市景観① |
| 4 古代・中世の村落景観 | 9 都市化 | 14 さまざまな都市景観② |
| 5 近世・近代の村落景観 | 10 さまざまな都市問題 | 15 定期試験 |

〔テキスト〕 適宜プリント配布、地図帳持参が望ましい。

〔参考文献〕 『現代都市地理学』（北川編、古今書院、2004年）、『景観を考える』（浮田編、大明堂、1988年）、
實清隆『大学テキスト 人文地理学』（2006.古今書院）

〔授業形態〕 講義形式で行なうが、地理学は景観の学でもあるので、画像や映像の提示にも注視してもらいたい。

〔成績評価の方法〕 定期試験 80%、レポート等の平常点 20%

22121

中国語アジア文化特殊講義 現代中国経済（中国経済論）S 霍麗艶

〔授業題目〕 現代中国の経済

〔概要〕 中国は改革開放以来、「世界の工場」から「世界の市場」へと変貌したが、数多くの不安定の要因も現れている。本講義は中国経済の体制、現状と問題点、将来のトレンドについてマクロ面、ミクロ面で考察する。

〔到達目標〕 本講義では各課題の提示により、中国経済の現状を客観的に理解するとともに、将来中国と関連するビジネスを行う際の基礎的知識を習得させることを目標とする。

〔授業計画〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 中国経済改革の発展過程 | 9 社会保障制度の改革 |
| 2 社会主義市場経済体制への移行 | 10 人口変動と労働力市場の形成 |
| 3 国有企業の改革と所有形態の多様化 | 11 経済発展による教育制度の変化と課題 |
| 4 金融資本市場の形成 | 12 消費スタイルの変化 |
| 5 貿易政策と対中直接投資 | 13 所得格差問題と調和社会 |
| 6 中華経済圏の形成と中米経済摩擦 | 14 中国経済発展の直面する課題 |
| 7 日中の経済関係 | 15 期末試験 |
| 8 三農問題—農業、農村、農民 | |

〔テキスト〕 プリント配布

〔参考文献〕 日頃から『日本経済新聞』の中国関連記事・コラムをフォローしておくことが望ましい。

〔授業形態〕 講義

〔成績評価の方法〕 期末試験 70%、レポート・授業の平常点 30%